

拝啓 春和の候、水野先生をはじめへアレンツキャンプの皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、支援を卒業いたしまして初めての新学期を迎え、一言お礼と近況報告をさせていただきたくペンを取りました。

息子は約1年半前、中学1年生の夏休み明けから突然、不登校になりました。あまりにも突然のことで、私自身もどう対処すればいいのかわからず、原因を追及してみたり、怒鳴ってみたり、なだめてみたり、エサで釣ってみたり...しかし息子の目は石の様に硬く全く開かなくなり、起床しても腹痛を訴えトイレに

閉じこもり、お互いに怒鳴り合い、私への暴力も出るようになりました。そこから毎日、インターネットで「不登校」について検索をしたり、本を購入して読んだり、ひたすら情報を集

めました。そこには、原因は発達障害の二次障害や、エネルギーの枯渇、対処法は、投薬やエネルギーが貯まるまで、好きなことをさせて待つ。などと

書かれていました。始めはそのように対処しようと努力もしていました。が、息子の状況はますます酷くなるばかりでした。

不登校になってから一ヶ月半後、「後悔しないように出来る事をやってみたい」と職場に理解を得て、2週間の休暇をいただきました。「行けるときにいつでも送るよ。」と言うと、「〇時間目から行く。」「明日は絶対行く。」と言いなから、家を出る時間になってトイレに閉じこもったり、学校まで行っても車を降りなったり、結局ほとんど登校できませんでした。

2週間の休暇中、さらに情報収集をしました。最初は、「不登校」だけの検索ワードだったのが、「反抗期」「家庭内暴力」などの検索ワードが追加され、そのうちに辿り着いたのが、ヘアレンツキャンプで支援を受けて見事お子さんを復学させた方のブログでした。そしてヘアレンツキャンプを含め他の復学支援機関のホームページを見て、追求しようとしていた不登校の原因は、きっかりでしかなく、本当の原因は息子のストレス耐性の低さにあることを知り、「これだ!」と確信しました。

それから、実際に支援を受けた方々のブログを読みあさる中で、少しでも早く「復学」させたい気持ちが固まり、すぐに相談メールを送り電話カウンセリングをお願いしました。

初回無料の電話カウンセリングは、水野先生でした。私は一番の気がかりについて伺いました。

「息子は、小学校6年生の時、学校で問題児でした。担任はもちろん、教頭、校長にまで反抗し、学級崩壊をさせました。その頃家でも宿題に時間がかかり、途中で1時間ほど暴れることが度々ありました。中学生になっても、虚勢を張り、先生や、上級生とのトラブルがあり、クラスでは授業妨害をしていたことで周りから浮いています。集中力が無く授業が聞けず、自分で宿題やテスト勉強が出来ません。注意欠陥障害を疑い投薬もしてみましたが交かき目が無く、今はやめています。

発達障害だから、このようになっているのでしょうか？」

水野先生のお答えは、「病院に行けば病名は付くでしょう。しかし、たとえ発達障害のグレーゾーンだと

しても、真っ黒だったとしても、今ある環境で自立した大人にならないといけない。」というものでした。それを聞いて、自分が目先のことばかりにとらわれて子育てをしていたことに気付かされました。支援の目的は「復学」では無く、継続登校そして子どもを自立した大人に育てることでした。親が変わることによって子どもを変えなければ、と思えた瞬間でした。

すぐに支援していただくことをお願いし、同時に通院していた児童精神科の先生に、一旦通院をやめる事を告げました。

支援開始直後から家で暴れる問題は頻発し、その度に水野先生は細かく対応の仕方を教えてくださいました。遅い時間や休日でも緊急時に対応していただき、本当に心強かったです。

家庭教育支援コースから1ヶ月後、問題解決支援コースに初行い、その1ヶ月後に無事復学しましたが、山あり谷ありの継続登校で、特に息子は元々胃腸が弱い上、不登校と同時に「過敏性腸症候群」が酷くなり、


順調と言える朝の方が圧倒的に

5/7

少なかったです。それでも、支援を受け、日々の対応を学ぶ中で
私自身が息子に対して毅然とした態度が取れるようになり、
親子関係は次第に改善されていき、そして心配していた学校
での問題行動も無くなりました。

私は息子が不登校になったとき、絶望的な気持ちに
なりました。しかし、中学1年生で「家庭教育」というものに辿り
着くきっかけになり、今は良かったとさえ思っています。言葉で伝
える事が苦手で、感情のコントロールが出来ず“パニックになる息
子に、パニックにならないように先回りをして、親は悪くないのに
落ち着かせるために謝ってみたり、今までどれだけ間違えた
ことをしていたのか。学校へ行かず、イヤなことから逃げ、家
で暴れる様な子どもに育てたのは、自分なのだ”と知ることが
出来たからです。もし不登校にはならず、エサで釣ったり
機嫌を取りながらだまされ通学出来ていたら、その
間違えた対応を間違えた”と気付かないまま”と続
けていただろう。と思うと、ぞっとします。

復学から11ヶ月、まだまだ登校が安定しない状態で支援卒業させていただく事を決めましたが、その1ヶ月後から登校が安定していき、とても良い状態で、私は支援卒業、息子は中学2年生を終了しました。そして中学3年生、新学期が始まって約10日、毎日問題なく登校出来ています。

(本当は、今までになく「順調なので」「当たり前前の登校をしています」とご報告したいところですが、のことですから、もう少し様子見です。)

水野先生、辻先生には、家庭教育支援コースを含め1年3ヶ月間、全力で支援いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にお世話になり、ありがとうございました。

これからの1年も、そしてその後も、進路問題を中心に、「穏やかに…」とはいかないと覚悟はしていますが、予期せぬ事が起っても、パニックにならず、息子の問題は息子自身で解決できる様になる事を目標に、「家庭教育」の基本を忘れず、日々頑張っていきたいと思っています。

7/7

そしていつかは、ブログ等で惜しめない情報を発信していただいたり、コメントにアドバイスをしていただいた、支援の先輩方の様に何らかの形で、不登校で悩んでいる親御さんの少しでも目助けになればと思っています。

支援は卒業させていただきましたが、親の会やセミナーに出来るだけ参加させていただき、「家庭教育」の勉強は続けていきたいと思っておりますので、これからどうぞよろしくお願い致します。

最後になりましたが、水野先生、訪問の辻先生をはじめ、HPレインツキャンフオスタッフの皆様、昼夜を問わず"全国を飛び回りお忙しいとは思いますが、今後ますますのご活躍とご健勝を心からお祈り申し上げます。

敬具

平成27年4月18日